

第1章 子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の方向性

【参考】

<幼児教育の
意義・役割>

- 幼児教育→ ・ 生涯にわたる人間形成の基礎を育む役割
・ 学校教育のはじまりとして「生きる力」の基礎を育成する役割
- 幼児教育とは→ 小学校就学前の幼児に対する家庭・地域社会・幼稚園等施設において行われる教育の総称

幼児教育は重要

これまでの取組： 量的拡大, 教育要領改訂等質的向上,
「幼児教育振興プログラム」の推進等

<幼児教育の今日的課題>

(しながら) 近年の子どもの育ちが何かおかしい。【 今日的課題 】

子どもの育ちの変化

- 基本的な生活習慣の欠如
- コミュニケーション能力の不足
- 自制心や規範意識の不足
- 運動能力の低下
- 小学校生活への不適応
- 学びに対する意欲・関心の低下 等

<その背景>

我が国の社会の急激な変化等に伴う教育力の低下

- 少子化, 核家族化, 都市化, 情報化等の経済社会の急激な変化
- 人間関係の希薄化, 地域における地縁的なつながりの希薄化, 大人優先の社会風潮など

地域社会の教育力の低下

- 子どもどうして遊び, 葛藤しながら成長する体験の機会の減少
- 身近な自然や遊び場の減少
- 近隣の大人の無関心

(影響)

家庭の教育力の低下

- 子育ての孤立化による (親の) 育児不安や情緒不安定
- 子育てに夢を抱きづらい状況・意識
- 過重な労働等の子育てへの影響

(影響)

幼稚園教員等の今日的課題

- 家庭や地域社会の教育力の低下等の課題に対応するため, 資質・専門性を高める必要
- 一方で, 教員等自身の成長過程における多様な体験の不足
保育を構想し実践する能力, 保護者等との良好な関係を構築する能力が不足する傾向

家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者の対応が不十分

将来にわたる子どもの健やかな成長への危機感

対応の必要

<今後の幼児教育の方向性>

- 1 家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者による総合的な幼児教育の推進
- 2 幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実

第2章 幼児教育の充実のための具体的方策

<二つの方向性>

- I 家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者による総合的な幼児教育の推進
- II 幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実

<三つの課題>

- 1 幼稚園等施設の教育機能の強化・拡大
- 2 家庭・地域社会の教育力の再生・向上
- 3 幼児教育を支える基盤等の強化

<七つの重点施策>

- ①すべての幼児に対する幼児教育の機会の提供
- ②発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実
- ③幼稚園教員の資質及び専門性の向上
- ④幼稚園等施設による家庭や地域社会の教育力の再生・向上
- ⑤生涯学習振興施策や働き方の見直し等による家庭や地域社会の教育力の再生・向上
- ⑥地域の人材等の積極的活用
- ⑦幼児教育を地域で支える基盤等の充実・強化

<具体的施策>

- (1) 希望するすべての幼児に対する幼児教育の機会の拡大
- (2) 幼児教育振興プログラムの着実な推進と検証等
- (1) **小学校教育との連携・接続の強化・改善**
 - ・ 教育内容における接続の改善
 - ・ 人事交流等の推進, 奨励
 - ・ 「幼小連携推進校」の奨励, 幼小一貫教育の検討
- (2) 3歳未満の幼児の幼稚園への接続の扱い
- (1) 幼稚園教員の養成・採用・研修等の改善
- (2) 上級免許状の取得促進, 所有者の配置拡大
- (1) 子育て支援の在り方
 - ・ 幼稚園等施設における子育て支援の推進等
 - ・ 地域社会との双方向ネットワークの構築
- (2) 幼稚園における預かり保育の明確化
- (1) 生涯学習振興施策等の推進
- (2) 企業における働き方の見直し等
- (1) 幼稚園等施設における地域の人材等の活用
- (2) 幼児教育にかかわる地域の人材等の育成
- (1) 自己評価・外部評価と情報提供等の推進
- (2) 幼児教育を支援する拠点機能(センター機能)の整備
- (3) 幼児の状況等に関する国及び地方を通じた実証的な調査研究の推進
- (4) 幼児教育を推進しやすい行政体制づくり